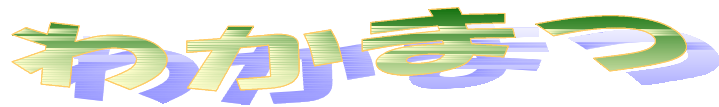


子どもを育てる学校・家庭・地域のネットワークづくり



平成25年4月30日発行  
中村小学校だより No.3  
発行責任者 校長 嶋山 和也

## 授業参観、PTA・中村小学校をよくする会総会、 学級懇談会、学校評議員会等 お世話になりました。 今年度のPTA活動のスタートです。4/20(土)

肌寒い気候の中、授業参観やPTA・よくする会総会、学級懇談が行われました。PTA本部役員や各種委員会の役員さんには、ご多用の所、今年度の役員を引き受けていただき、ありがとうございます。本校のPTAが子どもを通して交流を深め、学校、保護者が共により良い学校づくりを目指していきたく思いますのでよろしくお願いいたします。



一斉で！ グループで！ 「人の話をしっかり聞くこと」が学力アップの基盤です

### 第1回学校評議員会 第3者の 視点でご意見をいただきました

#### 平成25年度の学校評議員(5名)

舟橋邦夫さん、仕黒敏男さん、山田由美子さん、  
榊原美津子さん、萩原久子さん

今年度の第1回目の学校評議員会が行われ、5名の評議員の皆さんに授業を参観していただき、学校の取組や様子について意見交換をしました。良い点としては、緊張感の中にも学級の雰囲気が見えることや落ち着いた様子があげられました。課題としては、少子化の中子ども達一人一人の生活習慣の確立、学力・体力向上に向けての指導、いじめ等への対応などがあげられました。今年度よろしくお願いいたします。

### 今年も米づくりがスタート！ボランティアの 高橋弘一さんの話に目を輝かせていました

秋の収穫までの約半年の米づくりがボランティアの高橋さんの指導のもと種籾まきで始まり、毎日、食べているお米を実際に育てることは、普段の食生活を振り返るためにも意義があります。世界的な食糧危機が危惧されている現在、米一粒の大切さを実感できる活動になればと期待しています。



### 言ってはいけない言葉がある！ 言霊(ことだま)…言葉には魂が宿る。

近年、テレビやゲームなどの影響か、子ども達が「うざい」「死ね」「きもい」「ばばあ」などの汚い言葉を平気で口にするようになってきました。(子ども以外でも!)「私が一番受けたいココロの授業」の著者である比井田氏は以下のことを言っています。

汚い言葉を使うと汚い心が出てきて、さらに汚い言葉が出てくる。悪い悪い相乗効果です。自分の耳が自分の言葉を一番近くで聞いています。だから、相手に向かって嫌な言葉を言っているつもりでも、実は自分に一番その言葉を聞かせているのです。まさに自分で吐いた毒で自分がやられていくのと同じことなのです。

言霊(ことだま)と言う言葉があるように「言葉には魂が宿る」と言われています。自分が発した言葉は、自分が一番に聞き、自分の脳に伝えられて、脳にすり込まれ、記憶していきます。他人に言ったはずの汚い言葉がまさに自分にはね返ってきて自分が汚くなっていくことになるのです。だから、逆に「ありがとう」など、きれいな言葉を口に出すようにしていくと言っているうちに、豊かで思いやりのある態度が身に付いていくのです。自分のためにも、他人のためにもきれいな言葉を言うように心がけることが大切です。

本校では「中村小 いじめさよなら宣言 ふわふわことばをいっぱい ちくちくことばはさようなら」を数年前から合い言葉にしています。それは、逆に言えば、そのような汚い言葉を耳にすることがあるということです。ご家庭でも汚い言葉を見逃さずきれいな言葉を多く言えるようお子さんにお話してください。

### 中小いれとご発見！おそうじピカピカ集会から 1週間 学年が上がるにつれて黙働を意識しています！

黙って取り組む姿に  
心の豊かさを感じます

